

都市消防委員会 2011年度決算審査 わしの恵子議員

# 巨大地下通路が必要なのか ささしま交差点～ささしまライブ24地区

住宅都市局の2011年度決算を審議の中で、わしの恵子議員は、都市計画道路「八事天白溪線」「山手植田線」の計画廃止を求め、ささしま地下通路について質問しました。

## 次々と変更・巨大化される、ささしま巨大地下通路。事業費も分からない。

23年度の当初予算では300mの距離だったが、「整備検討」をすすめるなかで390mに延長、何と事業費は3倍にも膨れ上がることが明らかになりました。ささしまライブ24地区や名駅南地区のまちづくりと一体に、笹島交差点からささしまライブ24地区を巨大地下通路でつなぎ、ムービングウオーク（動く歩道）を作る（民間事業者がつくる予定）、そのために、地下通路の幅員を2.5m拡張することが、9月の都市消防委員会で明らかにされたばかりです。「2.5m拡張すると、巨大地下通路の事業費はどれだけ膨らむのか」「メンテナンスの費用はど

うか」という質問にも、当局は「分らない」と答えました。

新規住宅の着工を求めている、財政事情を理由に新規の住宅はつくりたいと答弁する一方で、名古屋駅前などには税金をつぎ込む姿勢です。次から次へと大型開発が目白押しで、24年度からは、リニア中央新幹線開業に向けた都市機能検討調査等が実施されるなど、ますます大型開発が進む計画です。

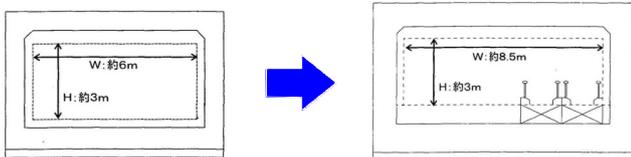
## 八事天白溪線・山手植田線計画は廃止を

わしの議員は、住民運動が起こっている都市計画道路について質問しました。現地調査をもとに、「山手植田線と天白溪線は一体のもの、八事日赤病院北の5差路交差点の問題、また、名城大学のグラウンドを横切ることや、鋭角で危険な道路になるなど線形状の問題もある。天白溪線の予定地は、自然豊かな樹林地があり、湧水や地下水も豊富で市内でも貴重なところ。交通量調査でも5年前より減少している。住民合意のない道路建設は廃止をすべき」と求めました。

市当局は「整備が困難ということであれば、廃止も含めた路線を早期に検討していきたい」と答弁しました。

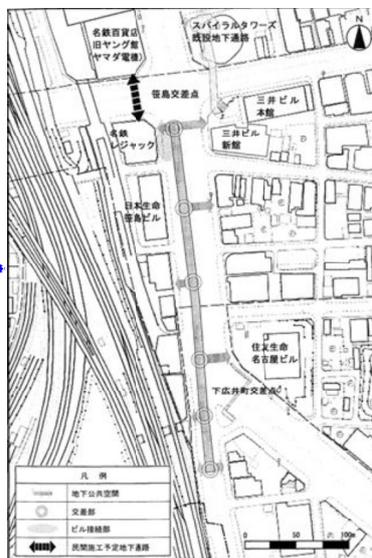


地下通路2011年予算の配置図です。(地下通路の長さは300m)



地下通路従来の空間 (幅6m)

地下通路変更後の空間 (幅が8.5mに広がる。ムービングウオーク設置のため)



地下通路2012年予算の配置図です。(各民間ビルへ枝道が出て長さは390mに)